

# 研究所だより

第115号 令和2年3月

令和元年度をもって御退職される先生方を代表して、校園所長会より志津こども園 園長 北島 敬子先生、校長会より草津中学校 校長 大崎 武弘先生よりお言葉をいただきました。

## 温かな教育を 校長会長 大崎 武弘（草津中学校長）

昨年の卒業式前「やまびこ」に通所していた男子生徒から「いつも学校や生徒を見守ってくれてありがとうございます。校長先生の話で頑張れました。」と、また女子生徒は「中学1年の登校できなくなった頃、勇気を出して久し振りに登校した時に、校門で校長先生が『ここまで来られただけでも偉い、一人じゃ不安でしょう。教室まで一緒に行こう。』と言われたことが、本当に嬉しかった。」と書かれていたメッセージが、私にとっても大変嬉しく大切な宝物となっています。

教師として出発してから38年、その間情報化・グローバル化・少子高齢化など社会は急速な変化を遂げています。その社会変化に合わせ、時代のニーズに合った教育に力を注いできました。また社会変化に合わせた生徒指導の課題も変化が見られるなか、生徒を育む教育も大切に取り組んできました。その生徒指導の課題の中でも、不登校については全国的に高い増加で推移しており、重点課題として各学校で対応されていると思っています。

私の娘が、小学校時代に学校に行けなかった時期がありました。ある日その小学校の教頭先生が「一度お父さんとお話したいので来校を」と依頼があり訪問すると「私たちは、不登校については、“素人”なので一度関係機関に相談してください。」とのこと。冷たさを感じました。

今教員は多岐にわたり仕事が多く大変だと思いますが、『ひとを大切に 温かな教育』が基盤であってほしいと切に願っております。



## 感謝の思い 校園所長会長 北島 敬子（志津こども園長）

憧れの幼稚園教諭となり、心躍らせて志津幼稚園の門をくぐったのは39年前です。

城池や神社の森、田畑に囲まれた自然豊かな中にひっそりとたたずむ幼稚園がとても温かい雰囲気を感じ出し、ここからどんな出会いが待っているのかと、期待が膨らんだことを昨日のこのように思い出します。20代の頃は、失敗の連続でした。肩を落としている私に、「失敗を恐れてはダメ。若いころの失敗は、必ず生かされるから。」と先輩の先生から温かい励ましを受け、その後の私の教訓となりました。他にも、諸先生方や地域・保護者の皆様方からは、たくさんの温かい支えや励ましをいただきました。一つひとつが大切な思い出であり、感謝の気持ちでいっぱいになります。

特に、子ども達とは日々喜怒哀楽を共に過ごし、目標に向かって少しずつ課題を乗り越え、互いに喜び合う体験を積み重ねてきたことにより、子ども目線で見つめ、理解し、支えていくことの大切さを学べたことは、私にとってかけがえのない宝物となりました。未熟な私を一番育ててくれたのは、子ども達だったのかもしれない。

現在、就学前教育は大きな変革の中にあり、現場で戸惑うことも多々ありますが、今年度は、志津こども園開園から職員が一丸となって課題を乗り越えていく喜びをたくさん味わうことができました。今後も「人生100年時代」において、子どもの生涯を保障していくために、草津市の就学前教育がますます発展していくことを願っています。

# 令和元年度 草津市教育研究奨励事業

今年度も多くの先生方が本事業に挑戦していただきました。ありがとうございました。

教育研究奨励事業は、市内の教職員・保育士の自発的な教育研究活動の促進を図るため、個人またはグループの研究に対して奨励賞を授与し、もって教育・保育現場における意欲的かつ創意あふれる学級、学年、学校・園・所の経営ならびに学習指導法の改善と充実を図り、教職員・保育士の資質向上に資するとともに、草津市の教育・保育の向上を図ることを目的としています。

今年度の教育研究奨励事業の応募部門は、以下のとおりです。

①	ステップアップ研究部門 (現職の経験年数は問わない)	これまでの研究実践をふまえて、さらに創造的な実践や今日的課題を追究する実践を積み重ねた研究
②	フレッシュ研究部門 (若手教員を対象とした研究)	経験10年未満の教職員が行う実践研究
③	就学前教育研究部門 (幼稚園・保育所・こども園の職員を対象とした研究)	幼児教育・保育の実践を整理し、レポートとしてまとめることにより教育力・保育力を向上させる実践研究
④	アイデア部門	日々の保育や教育活動で役に立つオリジナルのアイデアやあると便利なオリジナルのグッズを作成

今年度の応募状況は以下の通りで、応募総数は56点です。

## <校種別>

保・幼・こども園	5点
小学校	33点
中学校	18点
合計	56点

たくさんのご応募、  
ありがとうございました！



## <部門別>

	保・幼・こども園	小学校	中学校	合計
①就学前教育研究部門	5点			5点
②フレッシュ研究部門		16点	10点	26点
③ステップアップ研究部門		12点	8点	20点
④アイデア部門		5点		5点
				56点

各部門に、最優秀賞、優秀賞、奨励賞があり、その他に、特別賞、教育研究所賞があります。

特別賞は、単年の研究に終わらず、継続的に奨励事業に参加し、優れた実践研究やアイデアやグッズの作成を行っている方へ贈られます。また、教育研究所賞は、研究所が指定する分野（道徳や外国語教育、ICTの活用など）の中から優れた研究論文を選んでいきます。

応募者は若手の保育士、教職員から管理職に至るまで幅広く、また継続して応募される方も多く見られました。研究主題は多岐にわたり、体力づくり、教科指導、ICT活用、学級経営、思考力向上に係るものや、プログラミング学習や言語活動の充実など、今日的教育課題に即したものが多くありました。

令和2年2月21日（金）には、教育研究所2階研修室において、研究奨励事業表彰式を行いました。式には教育委員の方々をお迎えし、川那邊 正 教育長より賞状が、草津市教育会 寺尾 信一 会長より副賞が授与されました。



↑川那邊教育長より、賞状の授与



↑寺尾教育会会長より、副賞の授与



↑教育委員より総評



みなさん、おめでとうございます！



次ページには、本年度御応募いただいた論文一覧および審査結果を掲載しています。また、論文は「たび丸ネット」に掲載しますので、ぜひ御一読ください。

最優秀賞に輝いた先生方には、次年度夏季休業中の研究発表大会において研究内容を発表していただく予定です。

今後とも教育研究所の研究奨励事業への御支援、御協力をよろしくお願いします。



来年度も、たくさんの応募をよろしくお願いします！

# 令和元年度 教育研究奨励事業 審査結果

部門	No.	形態	応募者氏名 グループ名	所属	研究主題	賞区分
就学前教育	1	共同	笠縫東こども園	チームひがし環境 パトロール隊	「心躍らせながら主体的に遊びこめる環境の在り方」 ～どきどき・わくわく・やってみよう ひがしっこ 意欲的にかかわる子どもをめざして～	優秀賞
	2	個人	草津中央おひさまこども園	宇野 智子	わくわく・どきどきを生み出す遊び環境 ～子どもも大人も心つながる保育をめざして、おひさまこども園2年目のステップ～	最優秀賞
	3	共同	矢倉幼稚園	矢倉幼稚園やってみようの会	幼児教育の変革期を乗り切る保育の展開と充実～職員の「当事者意識」を引き出す～	最優秀賞
	4	個人	笠縫幼稚園	谷口 ゆかり	思いを言葉にして『なぜそう思うのか』を聞き合う保育を目指して～伝える、伝え合う、考える、取り組む、実現する～	優秀賞
	5	共同	山田こども園	YMD23	安心できる居場所から広がる遊びへの探求心 ～人とのつながりから生まれるワクワクの気持ち～	優秀賞
フレッシュ研究	1	個人	志津小学校	吉田 衣里菜	子どもの意欲を高める課題設定による主体的・対話的な授業づくり	奨励賞
	2	個人	志津小学校	大畑 翔平	様々な考えを引き出す国語授業の工夫 (国語科におけるユニバーサルデザイン視点から)	奨励賞
	3	個人	草津小学校	矢野 美幸	だれもが安心できる学級づくり ～人権学習とソーシャルスキルトレーニングを通して～	奨励賞
	4	個人	草津第二小学校	吉村 翔平	自分の思いや考えを主体的に表現できる子どもの育成 ～「伝え合う力」を高める授業の創造～	優秀賞
	5	個人	草津第二小学校	間島 りいん	児童が安心して過ごせる温かい学級づくり	優秀賞
	6	個人	洪川小学校	佐野 仁美	伝え合う力を伸ばしつながり合う学習集団を目指して	奨励賞
	7	個人	洪川小学校	矢島 千里奈	「子ども主体の 子どもが輝く総合学習～「出逢い・体験し・伝える」を通して～」	優秀賞
	8	個人	矢倉小学校	五月女 暉	子どもたちが「つながる力」を培いながら体力向上できる授業を目指して	奨励賞
	9	個人	矢倉小学校	山田 茉実	児童が自分の考えを表現することができる学習支援のあり方-タブレットPCや電子黒板の活用を通して-	奨励賞
	10	個人	老上小学校	水崎 達郎	学ぶ意欲を引き出す学級集団作り～学級力の向上を目指して～	奨励賞
	11	個人	老上小学校	新谷 美桜	ICT機器を効果的に使った跳び箱運動	奨励賞
	12	個人	玉川小学校	片山 あかね	タブレット型PCを活用した、音楽科における実践研究	教育研究所賞
	13	個人	山田小学校	今井 雄一	書くことに対する苦手意識をなくすための実践研究 ～様々な種類の文章を書く作文教室を通して～	優秀賞
	14	個人	笠縫小学校	大下 真由	国語科における書く力の向上 ～「文章カキマスター」の取り組みを通して～	最優秀賞
	15	個人	笠縫小学校	福田 崇仁	道徳科を通して学級を作る～目に見える学びのステップ～	奨励賞
	16	個人	常盤小学校	青山 哲士	「できる」「分かる」「やりたい」が生まれる体育学習 ～主体的・対話的で深い学びの視点に立った指導の工夫を通して～	最優秀賞
	17	個人	高穂中学校	今澤 宏太	アクティブ・ラーニング時代の評価について ～パフォーマンス課題の実践を通して～	奨励賞
	18	個人	高穂中学校	七里 昌司	生きる力は遊びから～自尊感情・自己有用感を伸ばすレクリエーションの実践～	奨励賞
	19	個人	草津中学校	福井 杏奈	音楽と音学ができる授業づくり-新学習指導要領施行に向けての実践-	優秀賞
	20	個人	草津中学校	谷元 千香	「思考力・表現力の育成を目指した授業実践」	奨励賞
	21	個人	草津中学校	松本 学志	生徒自身の授業のまとめ方に関する実践研究	奨励賞
	22	個人	草津中学校	西山 真司	ICT機器を効果的に活用した授業づくりを目指して	奨励賞
	23	個人	草津中学校	森 明日佳	運動の楽しさや喜びを感じる指導の工夫	奨励賞

フ レ ッ シ ュ 研 究	24	個人	新堂中学校	杉山 侑起	「特別の教科 道徳」における“深い学び”の工夫	奨励賞
	25	個人	松原中学校	西野 裕大	基礎・基本の定着と主体的に学ぶための学習習慣の確立を目指した授業づくり	最優秀賞
	26	個人	松原中学校	勝部 遥介	自ら学び、かかわり合う生徒の育成～道徳の授業づくりを軸として～	奨励賞
ス テ ッ プ ア ッ プ 研 究	1	個人	志津南小学校	嶋田 達也	子どもたちの自治力を高め、学びに向かう学習集団を育てる取組 ～「クラス会議」と「ポジティブコメント」を通して～	優秀賞
	2	個人	草津小学校	高井 育夫	人権意識の向上で学校をバージョンアップ	優秀賞
	3	共同	矢倉小学校	校内研究部	「自分の言葉で伝える力の育成」	奨励賞
	4	共同	老上小学校	理科部会	理科の見方・考え方を働かせ、目の前の事物現象について自分なりの解釈ができる子供の育成～子どもの思考が学びを深める場面とは～	奨励賞
	5	個人	老上小学校	中井 善久	1年生の算数科におけるICTを活用した情報活用能力の育成	特別賞
	6	個人	老上西小学校	中村 祐規	音楽を通して育む自尊感情 ～音楽があふれる教室、教師へのあこがれを通して～	奨励賞
	7	共同	老上西小学校	算数でたいを釣る会	主体的に学び続ける子どもの育成 ～共働学習を活かした算数科の授業の創造～	奨励賞
	8	個人	南笠東小学校	掛田 みちる	読みの指導における子どもと担任の「楽しい」を支える校内指導体制づくり	優秀賞
	9	個人	南笠東小学校	大藤 麻千子	通常学級におけるインクルーシブ教育の実践 ～国語科 説明的文章の学習を通して～	最優秀賞
	10	共同	笠縫東小学校	絵画指導の力量を高め合う会	魅力的な絵画指導を求めて	奨励賞
	11	共同	笠縫東小学校	かさひが6年チーム	自分事として考え、思いを行動にうつす授業づくり～総合的な学習の時間「平和学習」の学びを通して～	奨励賞
	12	共同	常盤小学校	常盤小3年生たのしい算数チーム	学習する楽しさや分かる喜びが実感できる算数少人数学習を目指して	奨励賞
	13	共同	高穂中学校	校内研究推進委員会	社会で生きて働く力を育む『たかほソーシャルスキル(TSS科)』の開発 ～総合的な学習の時間を軸としたカリキュラムマネジメント～(2年次)	優秀賞
	14	共同	高穂中学校	校内研究推進委員会	学びを生み出す学習環境～学習形態という視点から生徒の学びを深める～	奨励賞
	15	共同	高穂中学校	校内研究推進委員会	めあてを持って授業に挑み、自分をふりかえり、次の学びにつなげていく ～めあて・ふりかえりの共通ルール作成に向けて～	奨励賞
	16	共同	高穂中学校	校内研究推進委員会	生徒の読解力・表現力育成を目指して ～たかほ読みかさねタイムの実践～	奨励賞
	17	個人	草津中学校	水谷 哲郎	「中学校社会科歴史的分野における深い学びを通じた思考力・判断力・表現力の育成」 ～関連付けによる多面的・多角的な考察を通じた深い理解を目指して～	最優秀賞
	18	共同	草津中学校	～ひとを大切に～ひとつを大切に～推進チーム	「令和の4改革」の具現化に向けた取組 ～チーム学校づくりの取組を充実させ具現化を図る～	奨励賞
	19	共同	老上中学校	神谷 千花	習熟度別少人数指導における指導法に関する実践研修	奨励賞
	20	個人	新堂中学校	中村 克幸	関数領域におけるタブレット端末の活用について	奨励賞
ア イ デ ア	1	個人	志津南小学校	嶋田 達也	トーキング・スティック	奨励賞
	2	個人	老上小学校	佐々木 栄	ミニ先生カード(鍵盤ハーモニカ)	奨励賞
	3	個人	老上小学校	佐々木 栄	スピーチてぶくろ	優秀賞
	4	個人	常盤小学校	北村 淳	歩いて大きな絵を描こう	奨励賞
	5	個人	常盤小学校	山田 景子	音符読み練習ツール「ミソシレファ」	奨励賞

# すらすら「読める」児童の育成をめざして

1 研究主題 小学1年生の「読み」の力を高める取組  
～多層指導モデル（MIM）を活用した授業実践～

2 研究概要  
本研究は、小学1年生を対象に、多層指導モデル（MIM）による読みの指導を行い、「読み」の基礎的能力の定着ならびに、「読み」の流暢性を高め、学力の基礎となる読解力を高める研究である。

毎月行うアセスメントの結果を加味しながら、特殊音節に特化した実践を行うことで、子どもたちの読みに対する苦手意識を減少させることができた。また、ICTの活用と「草津型アクティブ・ラーニング」を組み合わせることで、学力向上に確かな道筋がつけられた。

3 研究方法  
本研究を進めるにあたり、以下の4つを実施した。

- ①読みに関する意識調査（9月と12月）
- ②研究協力校による授業実践
- ③授業後にふりかえりを行い、児童に変化を分析
- ④月に2回、担任と打ち合わせの実施

## 4. 研究協力校

	実践校1	実践校2
学校名	草津市立矢倉小学校	草津市立草津小学校
対象者	1年1組	1年3組
	1年2組	
	1年3組	
実施日	9月～12月 週1回（水曜日）	10月～12月 週2回
実施時間	8：20～8：35 （15分間）	8：30～8：45 （15分間）
その他	アセスメントは5月から実施	アセスメントは9月から実施

## 5 研究の経過

4月	研究の計画及び授業実践協力依頼	12月	研究協力校1年生を対象とした「読みに関する意識調査」
5月～7月	MIM指導者研修会への参加①		
8月	授業の計画		MIM指導者研修会への参加③
9月	MIM指導者研修会への参加②	12月～1月	授業の分析
9月～12月	研究協力校1年生を対象とした「読みに関する意識調査」	2月	研究報告書原稿執筆
	研究協力校での授業実践	3月	草津市立教育研究所だよりにより研究内容を掲載

## 6 研究のまとめと今後の課題

### 研究のまとめ

- (1) 促音聞き取りゲームや拗音バスケットなど動きの中で学ぶ学びと、拗音かるたやビンゴなど文字を見たり書いたりする学びを組み合わせることにより、1年生の児童が楽しみながら飽きることなく、活動することができた。
- (2) 「草津型アクティブ・ラーニング」の学習スタイルを基盤にすることで、友だちの考えに触れる時間や友だちと共に学び合う時間が充実した。その結果、アセスメントでは、3rdステージの児童が減り、1stステージの児童が増えるという結果を得た。さらに、ICTの活用を組み合わせた草津小では、3rdステージの児童の割合が大きく減少した。ICTの活用が効果的であることが分かった。
- (3) 本を読むことは好きな児童や得意と感じる児童が増えたのは、継続的なアセスメントを行い、実践を進めたことで、児童の「読むこと」に対する苦手意識を軽減できた成果だと考える。
- (4) 担任の先生方のアンケート結果から、「『っ』の時に、手を使って考えている姿が見られた。」  
「書きの指導で子どもが困ったとき、動作化することでうまく書けるようになった。」など、日々の指導の中でもMIMの成果がうかがえた。



↑言葉ならべゲーム



↑拗音かるた



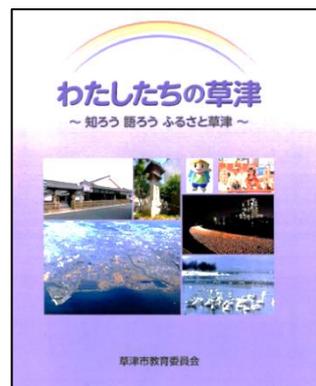
↑促音聞き取りゲーム

### 今後の課題

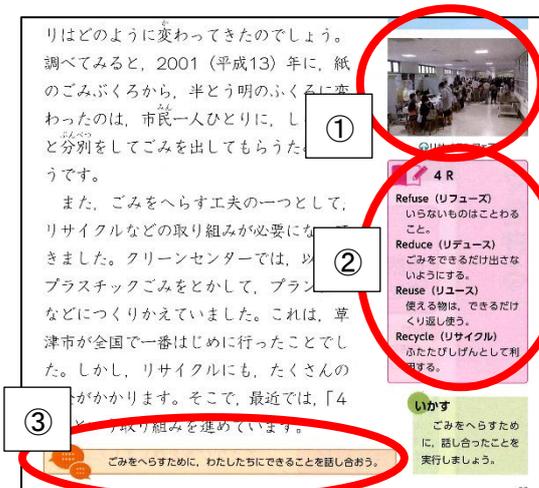
- (1) 今回、実践は「導入→活動→ふりかえり」の3部構成を15分間で行ったが、活動の時間を十分に確保することが難しかった。また、毎回違う活動を行ったため、「まだやりたい。」  
「もう1回したい。」などの声があった。子どもたちが十分に活動できる時間を確保するための時間配分、もしくは休み時間などに子どもたちが自由に教材を使って学べるような環境を整備することが今後の課題である。
- (2) 1年生での取組だけでなく、2年生以降も継続して行うことで、より特殊音節の定着、さらには読みの流暢性へつながっていくと考える。特に3rdステージの子どもに関しては、見守りと支援を続けていかなければ、学年が上がるにつれ、学習に困難を感じる場面が増えてくると考えられる。継続した支援体制や実施方法を探ることが課題である。

# 「わたしたちの草津」が新しくなります！！

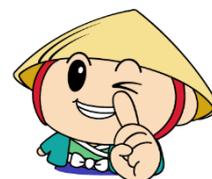
平成29年度より改訂作業を進めてきた「わたしたちの草津」が完成し、もうすぐ市内の小学校に届きます！今回、副題を「知ろう 語ろう ふるさと草津」に変更しました。これには、草津を知ることはもちろん、学んだことや自分の思いを語り合う中で、ふるさと「草津」をより好きになってほしいという思いが込められています。また、本年度は、指導書・ワークシート集・評価問題集の見直しもしました。改訂のポイントを以下にまとめていますので、ぜひ活用してください！



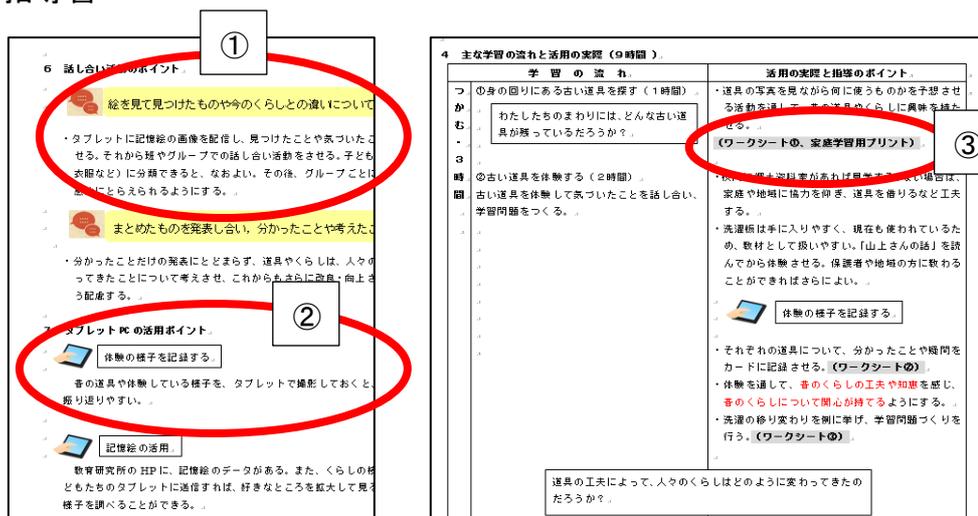
## ●副読本「わたしたちの草津」



- ①資料や図を、新しいものに変更しました。
- ②理解を確かなものにするために、大事な言葉を「キーワード」として明記しました。
- ③各単元に「話し合い活動」を導入しています。主体的・対話的で深い学びへつなげていく参考にしてください。



## ●指導書



- ①「わたしたちの草津」に話し合い活動を取り入れたことにより、指導書でも、話し合いの進め方や大切にしたいことを記載しました。
- ②タブレットPCが活用できるポイントを、イラストとともに分かりやすく記載しました。また、調べ学習だけでなく、話し合いや発表などいろいろな活用の方法を取り入れました。
- ③ワークシートの活用場所を明記し、より使いやすい指導書を目指しました。
- ④地図帳を扱う場面を積極的に取り入れ、活用方法も分かりやすく記載しました。

## ●ワークシート集

交通安全や事件を防ぐ①

( )年( )組( )番 名前( )

めあて・学習課題

1. 自分たちの身の回りで「あぶない!」と思うことや気づいていることについて思い出してみましょう。

2. 表やグラフを見て考えましょう。  
【子どもが関係した交通事故(人数)】

●歩いているとき	●自転車に乗っているとき	自分が親いんの車に乗るとき
い戻してない 30	安全確認不足 18	やどらもの車にもあ
飛び出し 16	一時停止 14	る親いんは、研が
横断歩道の横 11	い戻してない 14	う。
道での遊び 4	道幅むし 2	
一人歩き(自分) 4	その他 111	
道幅むし 2	合計 159	
その他 9		
合計 76		

表やグラフからわかること

【草津市も管内月別事故件数(人数)】

3. ふり返り(学習を終えて、分かったことや考えたことを書きましょう。)

交通安全や事件を防ぐ②

( )年( )組( )番 名前( ) **解答例**

めあて・学習課題

まさの中で、あぶないことや気づいていることについて話し合おう。

1. 自分たちの身の回りで「あぶない!」と思うことや気づいていることについて思い出してみましょう。

●歩いているとき

い戻してない 30	安全確認不足 18	自分が親いんの車に乗るとき
飛び出し 16	一時停止 14	やどらもの車にもあ
横断歩道の横 11	い戻してない 14	る親いんは、研が
道での遊び 4	道幅むし 2	
一人歩き(自分) 4	その他 111	
道幅むし 2	合計 159	
その他 9		
合計 76		

表やグラフからわかること

【草津市も管内月別事故件数(人数)】

3. ふり返り(学習を終えて、分かったことや考えたことを書きましょう。)

ワークシート集では、「めあて・学習課題」と「ふりかえり」を書く欄を設け、学びの足跡が残るようにしました。また、今回は解答例も作成し、より使いやすいワークシートを目指しました。



## ●評価問題

評価問題では、「主体的に学習に取り組む態度の観点」を記述式にし、自分の思いや考えを文章で表現する力の育成につなげました。各テストに必ず1問は設けています。また、配点基準を細かく明記し、採点しやすいよう配慮しました。

副読本以外の教材に関しましては、**3・4年のクラス数+特別支援学級用1**を各学校へ配布(3月末)します。データをまとめたCD-ROMも配布しますが、下記場所に公開していますのでお知りおきください。また、これらの教材に関しましては、**次年度の担当者へ引き継いで**いただきますよう、よろしくお願いいたします。

<データ保存先>

Public → 情報提供「教育研究所」 → 「わたしたちの草津」



最後になりましたが、「わたしたちの草津」の編集に関わってくださった先生方、そして、指導書・評価問題・ワークシートの作成に関わってくださって先生方には、大変お忙しい中、御尽力いただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。「わたしたちの草津」が3・4年の子どもたちに活用してもらえることを願っております。



## 草津型アクティブ・ラーニングで授業改善 ～ スキルアップ支援講座を振り返って ～

スキルアップ支援講座は、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりをめざし、その手段の一つとしてICT機器（電子黒板、タブレットPC等）の効果的な活用法を実践することを通して、授業改善につなげてきました。また、BS教員の授業を参観することで、効果的な導入、学習意欲を高める「学習課題」の設定や肯定的な言葉かけ、発問の仕方、子どもの発言を繋ぐ授業、授業の流れが分かる板書、展開のテンポの良さ等、大変参考になったという声が多くありました。第4回の研究授業では、夏季支援講座で研修したオクリンクを活用し、ペア学習やグループ学習を取り入れた子ども主体の活動を展開していました。草津型アクティブ・ラーニングに一步近づいたように感じました。また、研究協議を学年部で実施したり、校内研究に位置付けて全校体制で臨んだりした学校もありました。



スキルアップ  
対象者から

- ・ICTを活用した主体的な学びへの手ごたえをつかんだ。
- ・いただいたアドバイスは本当にありがたく、すぐに生かせるものばかりだった。
- ・子どもたちが本当に必要としているものは何かを把握し、支援していくことが重要であると身をもって感じた。
- ・単元ごとにどのように進めるか、どのような手法を使って進めていくかなど、学習というものをつなげて授業をつくっていけるようになったと思う。
- ・学級の実態を把握し、子ども達に合わせて授業改善していくことの大切さを改めて感じた。

## Pepper 社会貢献プログラム「スクールチャレンジ」参加校のプログラミング

この3年間、ペッパーを活用して楽しくわくわくしたプログラミング学習をしてきました。限られた時間でしたが、子どもたちのプログラミングの学習意欲は目を見張るものがありました。全国的には4月からの実施に向けて、様々なプログラミングツールが紹介されています。ICT教育の分野は進化が速いので、どんどん新しい情報を手に入れて活用していく姿勢が何より求められています。そして、新しい技術を人や社会のためにどのように役立てるか、子どもたちと一緒に探究していきましょう。

\*Scratch をまだ経験していない先生は、ぜひためしてください。\*



↑Scratch

# やまびこだより

## ♪音楽体験♪

1月29日、滋賀次世代文化芸術センターの講師に来ていただき音楽体験をしました。マリмба特有のまろやかで優しい音で奏でられる音楽を聴かせていただき、秋に自分たちで作成した音の出る焼き物を使ってリズム打ちなどを体験しました。



子どもたちだけでなく、講師の先生たちもノリノリ♪あっという間に時間が過ぎていきました。



子どもたちの個性あふれる楽器ができました♪



適応指導教室では、今年度15名の児童生徒が在籍していました。先生方には、子ども達に会うためにお忙しい授業の合間に適応指導教室に様子を見に来てくださったり、行事の見学に来ていただいたりし、子ども達はとても喜んでいました。ありがとうございました。関係機関の方々にも大変お世話になりありがとうございました。

## 相談室から

やまびこ教育相談室の相談者延べ人数は約500件で、前年度1月の同時期とほぼ同じです。

昨年度後半から小学生が急増し、今年度も中学生を大幅に上回っています。特に小学校中学年頃から、学習に付いていけなかつたりクラスの仲間に入れなかつたりして、しんどくなるようです。子どもたちが出す様々なサインを見逃さずに早期対応したいものです。

やまびこでは、保護者・児童生徒それぞれへの面談や本人へのプレイセラピーを実施し、学校と連携して複合的な課題を整理しながら、子どもや保護者が自らの力で問題に向き合っていけるよう支援します。今後ともよろしくをお願いします。



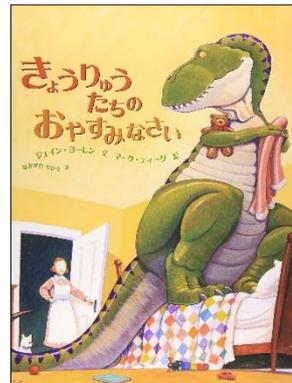
# シリーズ 司書さんのおすすめ絵本



「きょうりゅうたちのおやすみなさい」／マーク・ティーク絵／小峰書店

夜、寝る時間になっても、恐竜は素直に寝ようとはしません。おやすみなさいと言われても知らんぷりしたり、もっと本を読んでほしいと駄々をこねたりして大騒ぎします。

寝る前に騒ぐ子どもを恐竜で表現したユニークな絵本は、読む側の親には共感を、子どもには自身の行動を客観的に見る良い機会となります。最後はお母さんに抱きしめてもらってから眠りにつく、心温まる物語です。



「あめがふるひに…」／イ ヘリ文・絵／くもん出版

「こんなあめがふるひ、チーターはなにをしてるかな？」  
「かさをしっかりつかんでいるさ。とばされないようにね。」続いて、ライオンや蝶々は…と展開していきます。

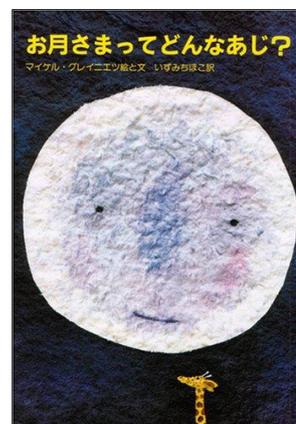
どしゃぶりの雨の日、私たちは家の中で過ごしますが、動物たちはどうしているのかと、楽しい想像が広がります。雨の日、外で遊ぶことができません、退屈している子どもたちに是非読んでみてください。



「お月さまってどんなあじ？」／ミハエル・グレイニェク絵と文／セーラー出版

夜空に輝くお月さまはとても綺麗で、何だか美味しそうです。甘いのかしょっぱいのか、気になって仕方がない動物たちは、一番高い山に登って噛ってみることにしました。

噛ろうとする動物たちをお月さまは避け続けますが、小さいからと軽んじていたネズミにとうとう噛られてしまいます。一体お月さまはどんな味なのかというワクワクする気持ちと、小さくてもできるという勇気を子どもたちに伝えてくれます。



## 読み聞かせにご活用ください